

【北海道における里親リクルート及び乳幼児短期里親委託支援事業報告】

日本財団 担当者様

報告日付：2025年3月31日

事業ID：2024010386

事業名：北海道における里親リクルート及び乳幼児短期里親委託支援

団体名：(福)麦の子会

担当者名：船木 香

TEL：011-776-6856

【目的】

一時保護等された乳幼児が家庭的な環境（里親等）で暮らせる環境が整備される。

【目標】

- 登録里親の数：年間で4人程度とする。
- 受託の乳幼児の数：年間で8人程度とする。

【事業内容】

1. 事業説明、里親リクルート、契約

●R6年度 緊急里親4名募集

R6年5月8日 札幌市内養育里親へ案内通知発送

R6年5月22日 応募締め切り（31組応募）

R6年5月28・30日 説明会（札幌市児童相談所家庭支援部里親担当係長同席・里親会副理事長陪席）（37名参加）

R6年6月20日 選考委員5名による書面審査（選考対象15組）

・選考委員（北海道大学 井出智博准教授・札幌乳児院院長・札幌市児童相談所家庭支援課長・麦の子会統括部長・事業担当者）

R6年6月20日 里親4組 選考決定通知発送

・選考理由（乳幼児の養育経験・居室、ペットなど環境要因・経済状況・里親会活動へ協力）

R6年6月26・27・28・29日 里親4組契約締結/家庭訪問・面談

●R7年度 緊急里親1名募集

R7年1月9日 札幌市内養育里親へ案内通知発送

R7年1月27日 応募締め切り（11組応募）

R7年2月6日 説明会（札幌市児童相談所家庭支援部里親担当係長同席・里親会副会長陪席）（11名参加）

R7年2月28日 選考委員5名による書面審査（選考対象15組）

・選考委員（北海道大学 井出智博准教授・札幌乳児院院長・札幌市児童相談所家庭支援課長・里親会副理事長・麦の子会統括部長）

R7年3月19日 契約締結/家庭訪問・面談

2. 里親への委託 R6年7月1日～R7年3月31日

里親1

- ① (H・Tちゃん) R6年7月1日～R7年1月16日（0か月～7か月）（200日間）→養子縁組里親へ（札幌市）
② (M.D.Uちゃん) R7年1月24日～継続中（0ヶ月～）（67日間）

里親2

- ③ (K・O君) R6年7月1日～R6年9月6日（0か月～3か月）（68日間）→養子縁組里親へ（札幌市）
③ (K・Wちゃん) R6年11月28日～30日 里親3～ 12月13日～R7.1月17日（0ヶ月）（40日間）→家庭ひきとり
⑤ (N・E君) R7年1月23日～継続中（0ヶ月～）（68日間）

里親3

- ⑥ (K・M君) R6年7月1日～R6年10月18日（1歳10か月～2歳）（110日間）→養育里親に委託
⑦ (H・T君) R6年11月11日～R6年11月19日（3歳3か月）（9日間）一時保護所満床のため3歳児委託→受け入れ可能となったため
④ (K・Wちゃん) R6年12月9日～12月12日（0か月）（4日間）→緊急里親2に戻る
⑧ (Y・K君) R7年1月6日（8か月）（1日間）→家庭ひきとり
⑨ (S・S君) R7年1月23日～継続中（10か月～）（68日間）

里親4

- ⑩ (S・S君) R6年7月16日～R6年8月6日（22日間）→家庭ひきとり
⑪ (Sちゃん) R6年8月19日～R6年9月5日（0か月～1か月）（18日間）→養子縁組里親へ（民間委託機関/環の会）
⑫ (S・I君) R6年9月30日～R6年10月9日（0か月）（10日間）→家庭ひきとり
⑬ (S君) R6年11月5日～8日（6か月）（4日間）→家庭ひきとり
⑭ (T・T君) R6年11月18日～R7年2月4日（1歳7か月～2歳0ヶ月）（79日間）
→家庭ひきとり

(1) 委託乳幼児数 14名

内訳 (0歳児 - 11名 / 1歳児 - 2名 / 3歳児 - 1名)

(夜間一時保護 2名)

(2) 委託解除後のその後

ア 養子縁組里親への委託 -3名 (札幌市内里親 2名・民間委託機関 1名)

イ 養育里親への委託 -1名

ウ 家庭ひきとり -6名

エ 一時保護所へ (3歳3か月) -1名 一時保護所が受け入れ可能となったため

オ 繼続中 -3名

(3) 稼働日数 7月1日から3月31日 合計 768日

里親1組あたりの月平均 約21日

3. 里親向けの研修会の開催

・里親候補家庭研修

R6年11月1日・2日「新規里親登録研修」

講師：大分大学 相澤仁教授・認定NPO法人児童虐待防止協会 津崎哲郎理事・札幌市子ども心身医療センター 上田敏彦医師

・乳幼児短期緊急里親研修

R7年3月5日 「妊娠SOS にくる妊娠さんと赤ちゃん」

講師：にんしんSOS ほっかいどうサポートセンター 田中佳子所長・関久美子助産師

4. フォスタリング機関の情報共有

フォスタリング会議 (札幌市内 3フォスタリング機関・児相)

R6年4月18日・5月16日・6月20日・7月18日・8月23日・9月19日

10月17日・11月21日・12月19日

R7年1月16日・2月20日・3月13日 (全12回)

・リクルート活動 「里親フェスタ」 R6年10月6日 共同開催について

・各機関で行う里親レベルアップ研修について

・里親ショートステイ (モデル事業) 報告

・乳幼児短期緊急里親事業 説明等

5. 事業実施によって得られた成果

(1) 赤ちゃんが家庭的環境で養育される機会の確保→施設ではなく温かい家庭のなかで安心して過ごせる赤ちゃんが増え愛着形成に良い影響がみられた。

(2) 緊急時にも即応できる体制の構築→突発的な母子分離 (虐待のリスク等) にも対応できる受け皿として機能し、迅速な受け入れが可能になった。

（3）家庭的養育の重要性への理解が広がった→施設ではなく家庭で育つことの大切さについて関係機関や地域社会の理解と関心が深まった。

（4）里親支援の仕組みの強化→緊急里親さんのサポート（研修、相談支援等）を行うことにより委託に関する安心感が生まれ里親解除後の喪失感の軽減がはかられた。

6. 活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

【新たな課題】

乳児院に措置されると長期化しやすく2歳頃まで施設で過ごすことが多い→その間に家庭養育を経験できず安定した愛着形成が困難になるリスクが高まる。

【対応案】

（1）家庭養育の優先にむけて

0～2歳児は原則家庭養育（里親措置等）とすることを関係機関とともに構築していくことをを目指していく。

（2）乳児院の機能の充実

乳児院が家庭養育への「中継地点」や「支援拠点」としての機能を少しづつ取り入れ、多様な里親支援の役割を担う環境の整備について関係機関と検討していく。